

企業訪問 循環型最前線レポート

ガステックサービス（株）

地域密着企業として エコを先導 E3のPRが課題 ガステックサービス（株）



ガステックサービス株式会社

■代表者／神野 吾郎

■所在地／豊橋市駅前大通1-55 サラタワー
TEL0532-51-1176 FAX0532-51-1178

■産業廃棄物収集運搬許可／

愛知県・豊橋市・岡崎市・豊田市・静岡県・浜西市・静岡市：廃油

総合エネルギー供給会社として豊橋を中心に愛知県はもとより静岡県、岐阜県など東海地区で事業を展開するガステックサービス株式会社 取締役 生活サポート事業部 荘司敏彦氏と生活サポート事業部 サービスステーショングループ マネージャー 湯本信二氏にお話しを伺いました。



ガステックサービス（株）取締役 荘司敏彦氏と湯本信二氏

現在ガステックサービスでは、E3というエコガソリンを販売・使用することで、国のエコ燃料実用化地域システム実証事業に参加しています。

エコ燃料実用化地域システム実証事業とは、地球温暖化防止のために、エコ燃料普及の加速化を目的とした政府（環境省）の取り組みです。

また、実証実験を行っている「エコガソリンE3」とは、植物由来の原料から作られたバイオエタノールを、約3%混合したレギュラーガソリンで、混合したバイオエタノール3%分のガソリン消費量を抑えることができるため、二酸化炭素（CO₂）の排出



を抑制でき、地球温暖化防止に役立ち、同時に化石燃料の消費も抑えるものです。

今、世界ではバイオエタノール混合ガソリンは世界標準、グローバルスタンダードになりつつあります。すでに世界の主要各国ではバイオエタノールを5%~100%と様々な割合で混合した燃料の利用、導入が始まっています。

このE3ガソリンを自社で利用するとともに、自社で展開するガソリンスタンドのレギュラーガソリンを昨年からE3にして販売しています。

スタンドの壁面には、E3を販売したことで削減された「CO₂削減量」が大きく表示されていました。

削減目標は年間250トンということでしたが、移行からちょうど1年、11月末現在で263トンに達し、目標をクリアしています。

「通常のガソリンからE3への移行前にスタッフを増やしてエコガソリンのチラシを配ったり、新聞に折り込み広告を入れたりしてPRしましたが、実際にエコガソリンだからと選んでくださっているお客様はまだまだ少ない状態です。しかし、最近では値段が変わらず品質に問題なければ環境に良いものを使いたいという声も聞こえるようになってきました。これからの課題は、E3を利用することによ



社で展開するガソリンスタンドのレギュラーガソリンを昨年からE3にして販売しています。

スタンドの壁面には

てできる環境への貢献をお客様にも目に見える形でPRしていくことだと思っています」と湯本マネージャーは話します。

E3をPRすることで環境への関心をもってもらい、認知され、利用されることでエコスタンドとしての役目を果たす、それが企業としての姿勢を地域の皆さんにアピールすることにつながっていくことと思います。

もう1つ、循環型社会構築のために現在取り組んでいることをご紹介します。

「アークリッシュ豊橋では、ホテルから排出される余剰パンの乾燥飼料化にも取り組み、さらに飼料化が難しい食品廃棄物は堆肥化、さらに廃食用油はバイオディーゼルとして再生しています。最終的には肉などの食材としてホテルに戻り優れた食材を加工した料理としてお客様に好評を頂いています。生産農家、農業関連事業者、リサイクル業者との連携によって実現できた取り組みです」と取締役の荘司敏彦氏は言います。

こうした企業の取り組みはどんどん地域に広がり、地域の人たちが知らないうちに巻き込まれていたという形になり、地域全体でエコ活動に取り組むという姿が遠くない未来に訪れるのではないのでしょうか。

